



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 循環器内科 鈴木 隆宏

【研究責任者】

聖路加国際病院 循環器内科 鈴木 隆宏

【研究代表者】

聖路加国際病院 循環器内科 鈴木 隆宏

入院前の健康の社会的決定因子が人々の健康に与える影響について

1.研究の対象

2004年7月から2022年4月までの間に聖路加国際病院に入院された18歳以上の方が対象になります。

2.研究の目的・方法 近年では世界保健機関（WHO）が定義する健康の社会的決定因子がもたらす人々の健康への影響が重要な関心事となっています。この健康の社会的決定因子は人々の健康状態を規定する社会的な要因と考えられており、例えば経済的状况、物理的な環境（医療機関への距離、住宅環境）などの枠組みとして捉えられています。この健康の社会的決定因子は入院後の予後に影響を与えることが指摘されていることから、入院時の問診から取得できる社会的決定因子の項目を抽出し、これらを本研究で検討することとしました。

今回の研究では、入院時の問診で取得できる社会的決定因子および入院時の各種検査結果を参照に、入院後の予後との関連性を検討することが目的です。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

患者背景の基本的な情報（年齢、性別、身長、体重、生年月日など）、入院時データ（問診票、血液検査のデータ、12誘導心電図、人工呼吸器の使用や手術の内容、初診時記録<リテラシー、学歴、職業 等>）、カルテ番号、薬の服薬状況、既往歴、国際疾病分類第10版コード、退院時の状況、郵便番号、保険区分 等

4.外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータ提供は、共有サーバ上にデータをアップロードし、厳密にアクセス権限の管理を行います。セキュリティについてはホワイトリスト方式によるパスワードを用いた管理を徹底いたします。

5.研究組織

研究代表者	聖路加国際病院	循環器内科	鈴木	隆宏
共同研究機関	京都大学大学院	医学研究科	糀谷	泰彦